

第1学年選択 国語科学習指導略案

1 コース名 「文学に親しもう」(オリジナル詩歌集をつくろう)【補充学習コース】
 単元 「短歌・俳句に親しもう」

2 コースの目標

詩歌に親しむ姿勢を養い、文学を楽しむ態度を身に付ける。

指導事項

- 第一学年「B 書くこと」イ 伝えたい事実や事柄，課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。
 第一学年「C 読むこと」オ 文章に表れているものの見方や考え方を理解し，自分のものの見方や考え方を広くすること。
 第一学年「言語事項」(3)ア 字形を整え，文字の大きさ，配列・配置に気を付けて書くこと。

3 単元の指導計画 (15時間)

配時	学習活動・内容	指導上の留意点	観点：評価規準 ＜評価の方法＞
1 2	短歌を学ぶ。 ・短歌の形式とリズム ・短歌の歴史 ・短歌の表現技法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ短歌の基本を想起させ、既習の短歌について紹介し、学習の端緒とする。 ・基本的な表現技法を押さえる程度にする。 	関：意欲的な態度で臨んでいる。 ＜発言・様相チェック＞
3	短歌を鑑賞し，その世界を味わう。 ・近代～現代の歌人の作品を読む。 ・気に入った短歌を選び鑑賞文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ短歌を含めて、有名な作品、また、同じ中学生がつくった作品を紹介する。 ・小学校で学んだ短歌の鑑賞文を紹介する。 	読：作品を正確に理解している。 書：自分の感想・心情を入れて鑑賞文を書いている。 ＜ワークシート分析＞
1	短歌や鑑賞文を，硬筆や毛筆で書く。 ・筆ペンで書く練習をする。 ・いろいろな形式で書いてみる。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆ペンの準備をしておく。 ・いろいろな字形や配列・配置を変えた書き方を練習させる。 	言：字形や字の大きさに配慮して書いている。 ＜作品分析＞
2	俳句を鑑賞し，その世界を味わう。 ・近代～現代の歌人の作品を読む。 ・気に入った俳句を選び鑑賞文を書く。 ・筆ペンで書く練習をする。 ・選んだ俳句の魅力や背景を紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ俳句を含めて、有名な作品、また、同じ中学生がつくった作品を紹介する。 ・小学校で学んだ俳句の鑑賞文を紹介する。 ・発表の補足をする。 ・説明された作品の理解が正確になされるように補足説明を行う。 	読：作品を正確に理解している。 書：自分の感想・心情を入れて鑑賞文を書いている。 ＜ワークシート分析＞ 書：作品のよさについての記述がある。 ＜ワークシート分析＞
5	選んだ俳句の解釈をしながら，その歌のイメージを伝えられるような表現方法を行う。 ・様々な表現方法があることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆ペンの準備をしておく。 ・様々な表現方法の例を準備しておく。 	言：詩の特徴を生かすような表現方法ができている。 ＜作品分析＞
10 本 時 ／ 15	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの歌のイメージに合う表現方法を考える。 ・自分の選んだ表現方法が意図するものを，解説する。 ・表現活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説するための学習プリントを準備しておく。 ・表現活動ができるような材料の準備をさせておく。 	関：意見交換を積極的に行い，相手の意見を参考に，作品を工夫しようとしているか。 ＜様相チェック＞
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ歌の解釈や，その表現方法の意図するものを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品づくりのための材料を準備させておく。 	読：詩の内容に合った表現活動ができているか。＜作品分析＞ 言：字の配列や字形に注意して文字を書いているか。＜作品分析＞
2	それぞれが選んだ作品紹介をまとめ，作品集を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・一冊の作品集にまとまるように，ページの順番などを考えておく。 	関：興味を持って作品集を読む。 ＜様相チェック＞

3 本時 10/15 時

(1) 本時の指導観

本時では、意味やその背景を理解した俳句を、それぞれの俳句の内容に合った、よりよい表現方法を考える授業となる。具体的にはまず、前時までの授業で考えていた、それぞれの詩の表現方法を、グループの中で発表し合い、グループの中で様々な意見交換をすることで、さらによりよい表現方法を考えていく。

小学校との関連については、単元の導入時に、小学校時に既習の短歌や俳句を紹介している。また、本時では、グループ内で意見交換することで、互いによりよい表現方法を探っていくのだが、小学校で行ってきた意見交換が、生かされるものとする。

- (2) 主眼 ・俳句の魅力を深く知り、表現できるような工夫をする。
 ・グループ内で意見交換をすることで、さらによりよい表現方法を考える。
- (3) 準備 ①ファイル ②ワークシート ③付箋紙 ④表現活動で使用する材料
- (4) 過程

学習活動・内容	○手だてや留意点 ◆〔観点〕評価 <評価方法>
<p>1 今までの学習から、学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>友達のアドバイスを参考にし、よりよい作品を作ろう。</p> </div>	<p>○今までに鑑賞した短歌や俳句の作品を、ファイルにとじたプリントで振り返らせる。</p> <p>○本時のめあてを確認し、板書する。</p>
<p>2 自分の書作品の作成計画をグループ内で発表し、アドバイスをもらう。</p> <p>3 アドバイスを参考に、選んだ俳句の書作品や鑑賞文を完成させ、発表の準備をする。</p> <p><書写の作品> いろいろな紙や筆記具を使い、俳句から受けた作品の印象を効果的に表現できるように作品を仕上げる。</p> <p><鑑賞文や俳句の説明文> 作品のよさをわかりやすく説明する文章を書く。</p>	<p>○俳句から感じたことを書作品にする計画を、グループ内で発表させる。</p> <p>○一人が発表を終えるごとに、付箋にアドバイスを書き込ませて発表者に渡す。</p> <p>○アドバイスの付箋を受け取り、発表者のワークシートに貼らせる。</p> <p>◆〔関〕よりよい作品にしようと意欲的に取り組んでいる。 <発言・様相チェック></p> <p>A 気づいたこと・考えたことを積極的に発言している。</p> <p>B アドバイスを作品作りに生かそうとしている。</p> <p>C の生徒への手だて どうすれば自分の考えを表せるか、いろいろな紙に筆記具を使って書き、どれがよいかを説明する。</p> <p>○小学校高学年で学習した「書くこと」の「目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりする。」をさらにすすめた形で、記述する内容が充実するよう説明する。</p>
<p>4 本時のまとめをする。 ・自己評価表</p>	<p>○本時の活動を振り返り、自己評価表に感想を記入するよう指示する。</p>